

# 検討会



# 農業機械の安全対策に関する検討会

## 趣旨

農業における労働災害は増加傾向にあり、労働者10万人当たりの死亡者数も全産業計の2倍を上回っている。死亡災害の内訳を見ると、労働安全衛生法令で規制されていない自走可能な農業機械（以下「車両系農業機械」という。）によるものが毎年発生している。

また、農業においては、法人経営体数・労働者数は増加傾向にある。

さらに、農林水産省「農作業安全検討会」では、車両系の農業機械の安全性の確保が指摘されている。

このようなことから、車両系農業機械に係る安全対策等について検討を行う。

## 検討事項

- (1) 車両系農業機械の規制の必要性
- (2) 車両系農業機械の具体的な安全対策
- (3) その他

## 開催状況

- 第1回：令和6年2月
- 第2回：令和6年3月
- 第3回：令和6年5月
- 第4回：令和6年6月
- 第5回：令和6年8月
- 第6回：令和6年9月
- 第7回：令和6年11月



## 参集者

泉 浩二	J A M井関農機労働組合中央執行委員長
梅崎 重夫	中央労働災害防止協会技術支援部技術顧問 (独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所前所長
川口 尚	(一社)日本農業機械工業会常務理事
氣多 正	(一社)日本農業機械化協会技術顧問 安全本部長
齋藤 剛	(独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ部長
志藤 博克	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業機械研究部門安全検査部部長
鈴木 信生	(一社)日本労働安全衛生コンサルタント 会前副会長
高橋 良行	(公社)日本農業法人協会副会長
藤井 尚剛	中央労働災害防止協会技術支援部専門役
元広 雅樹	(一社)全国農業協同組合中央会営農・担い手支援部部長  (敬称略)
(オブザーバー)	
土佐 竜一	農林水産省農産局技術普及課生産資材対策室長
横手 啓	全国農業協同組合連合会耕種資材部次長
田中 宏樹	全国農業機械商業協同組合連合会専務理事

図に関しては、(一社)日本農業機械化協会「農作業安全マニュアル」より抜粋

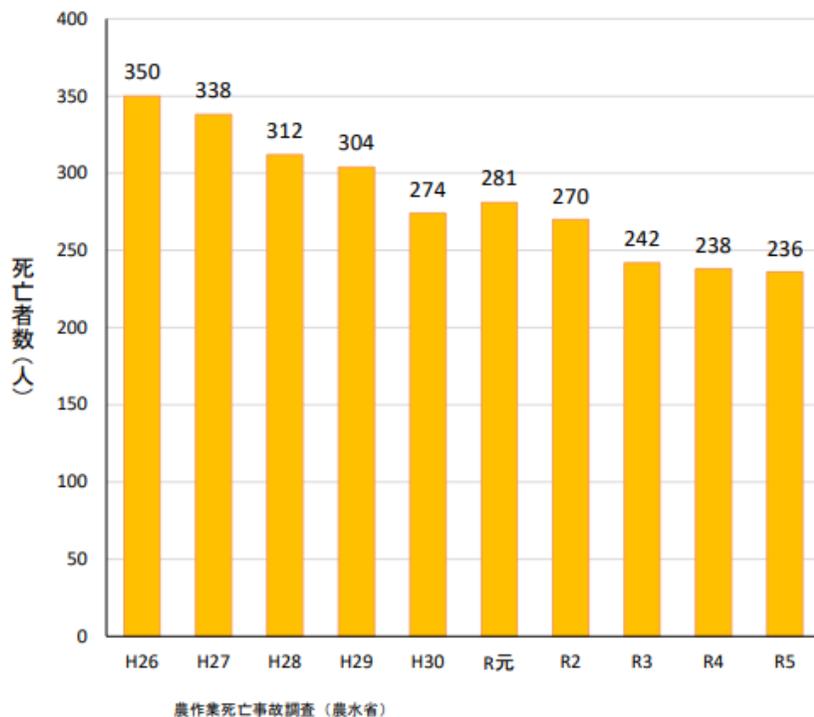
## 農業をめぐる現況



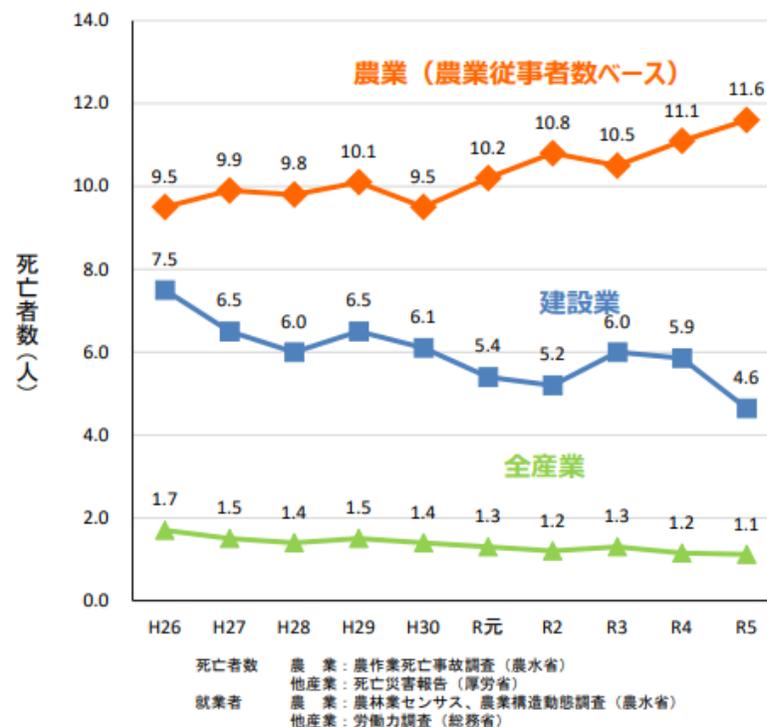
## 令和5年に発生した農作業死亡事故の調査結果

- 令和5年の農作業事故死亡者数は236人であり、前年（令和4年）と同水準。
- 就業者10万人当たりの死亡事故者数は11.6人と依然として増加傾向にあり、他産業に比べて高い状態が継続。

農作業事故死亡者数の推移



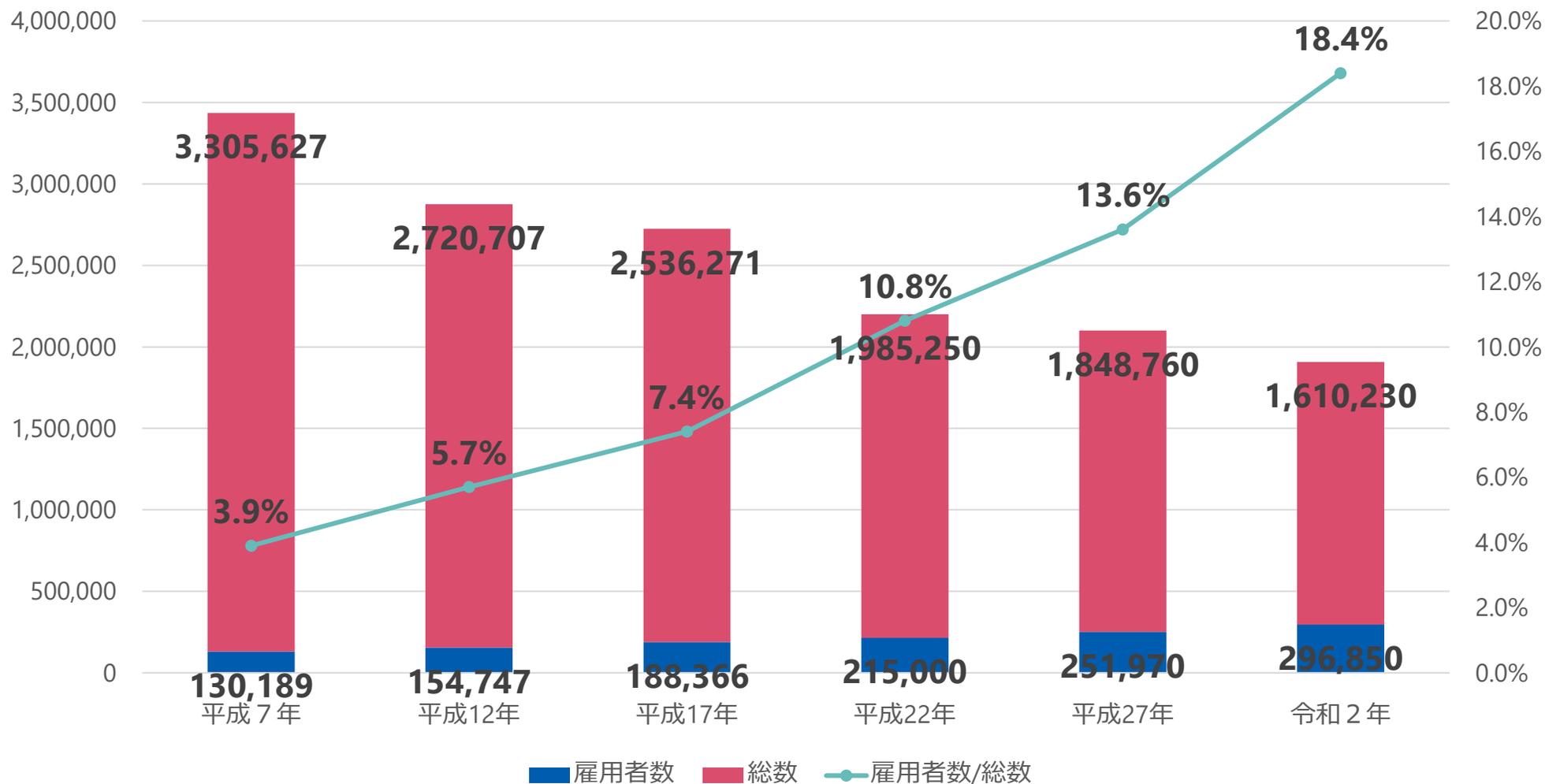
就業者10万人当たり死亡事故者数の推移



（注）就業者10万人当たり死亡事故者数の算出において就業者として使用していた農業就業人口の調査が令和元年で終了したため、令和2年から農業従事者数を使用して算出。

# 農業の労働環境改善に向けた政策の在り方に関する検討会 第3回検討会資料2を参照し、当方で作成

## ● 農業雇用者数（農業サービスを除く）の推移（国勢調査）



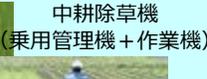
## 農業機械の種類



# 1. 農業機械の種類

## 1-1 各工程で使用される主な農業機械の種類

- 農作業では、水田・畑作用、野菜用、果樹用、畜産・酪農用に応じ様々な機械が使用されている。

水田・畑作	耕うん・整地・基肥	育苗・移植・播種	営農管理	収穫・調製			
	 ロータリー (トラクタ+作業機)  肥料散布機 (トラクタ+作業機)	 田植機  播種機 (トラクタ+作業機)	 刈払機  動力散布機  中耕除草機 (乗用管理機+作業機)  自脱型 コンバイン	 普通型 コンバイン  穀物乾燥機			
野菜	耕うん・整地・基肥	育苗・移植・播種	営農管理	収穫	調製		
	 ロータリー (トラクタ+作業機)  土壌消毒機 (トラクタ+作業機)	 キャベツ移植機  長ネギ移植機  播種機 (トラクタ+作業機)  中耕培土機 (乗用管理機+作業機)  フームスプレーヤ (乗用管理機+作業機)	 長ネギ 収穫機  大根 収穫機	 大根 調製装置  長ネギ 調製装置			
果樹	整枝・剪定	営農管理	収穫	調製・選別			
	 動力剪定機  乗用草刈機	 動力散布機  スピードスプレーヤ	 農用高所作業機  農用運搬車	 共同選果施設			
畜産・酪農	草地更新・基肥	飼料作	収穫・調製	給餌	飼養管理	搾乳	糞尿処理
	 ブロードキャスタ (トラクタ+作業機)  マニユアスプレッタ (トラクタ+作業機)	 フォレージハーベスタ (トラクタ+作業機)  ロールバレー (トラクタ+作業機)	 自動給餌装置	 搾乳ロボット  ミルキングパーラー	 堆肥舎		

# 1. 農業機械の種類

## 1-2 本検討会における農業機械の分類

- 事故・労働災害発生状況の情報から把握できる機械分類、農林水産省の出荷状況調査で把握できる機械分類を踏まえて以下の分類（※）を行った。

※ コンベヤや洗浄機、包装機等の工作機械等、労働安全衛生法令ですでに規制対象とされているものを除いている。

大分類	機械分類		例
	中分類	小分類	
①トラクタ、管理機等	自走式・乗用型	乗用トラクタ	乗用トラクタ
		乗用管理機	乗用管理機
	自走式・歩行型	歩行用トラクタ	歩行用トラクタ
		作業機	耕うん・ほ場改良作業機
	除草作業機		
	施肥作業機		
	播種・移植作業機		
	防除作業機		
収穫作業機 その他の作業機			
②除草用機械	自走式・乗用型	乗用草刈機	
	携帯型	手持ち式刈払機	
③播種・移植用機械	自走式・乗用型	田植機	
	その他（不明含む）		
④防除用機械	自走式・乗用型	スピードスプレーヤ	
	その他（不明含む）		
⑤果樹等作業用機械	自走式・乗用型	高所作業機	農用高所作業機
	自走式・乗用型	穀物	コンバイン
特用作物		サトウキビハーベスタ、 乗用型摘菜機	
野菜等		ネギ収穫機、ニンジン 収穫機	
⑦運搬用機械	自走式・乗用型	農用運搬車	
	その他（不明含む）		
⑧その他	その他（不明含む）		

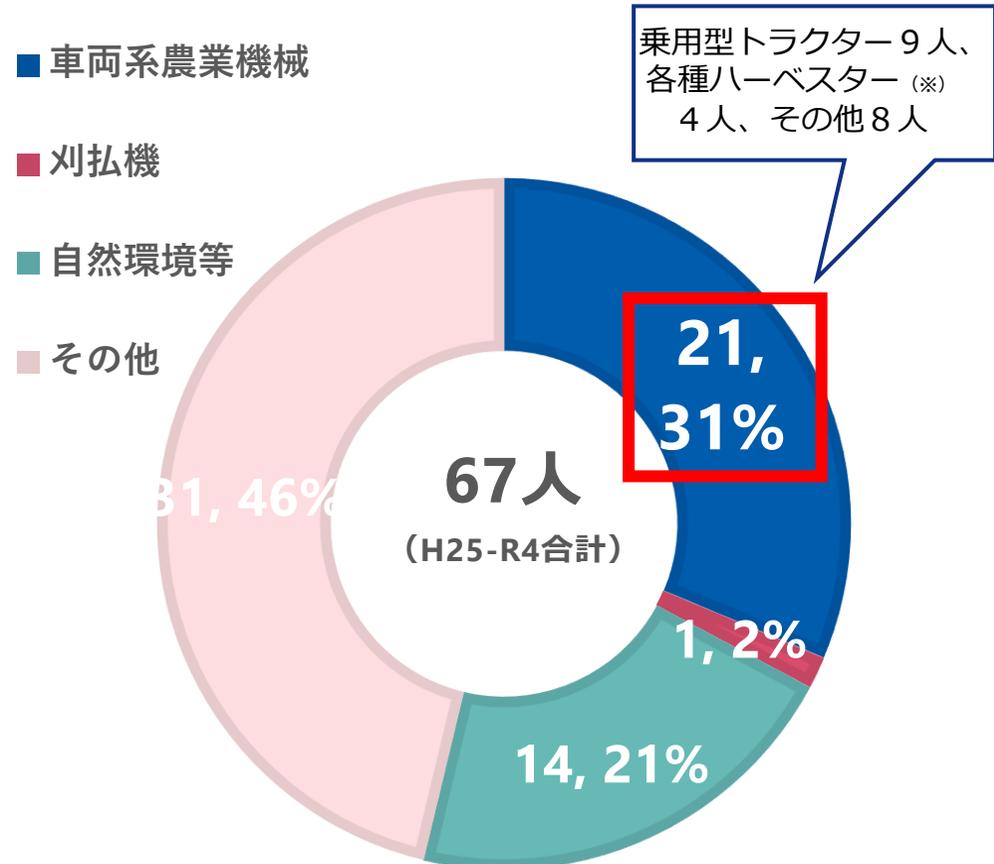
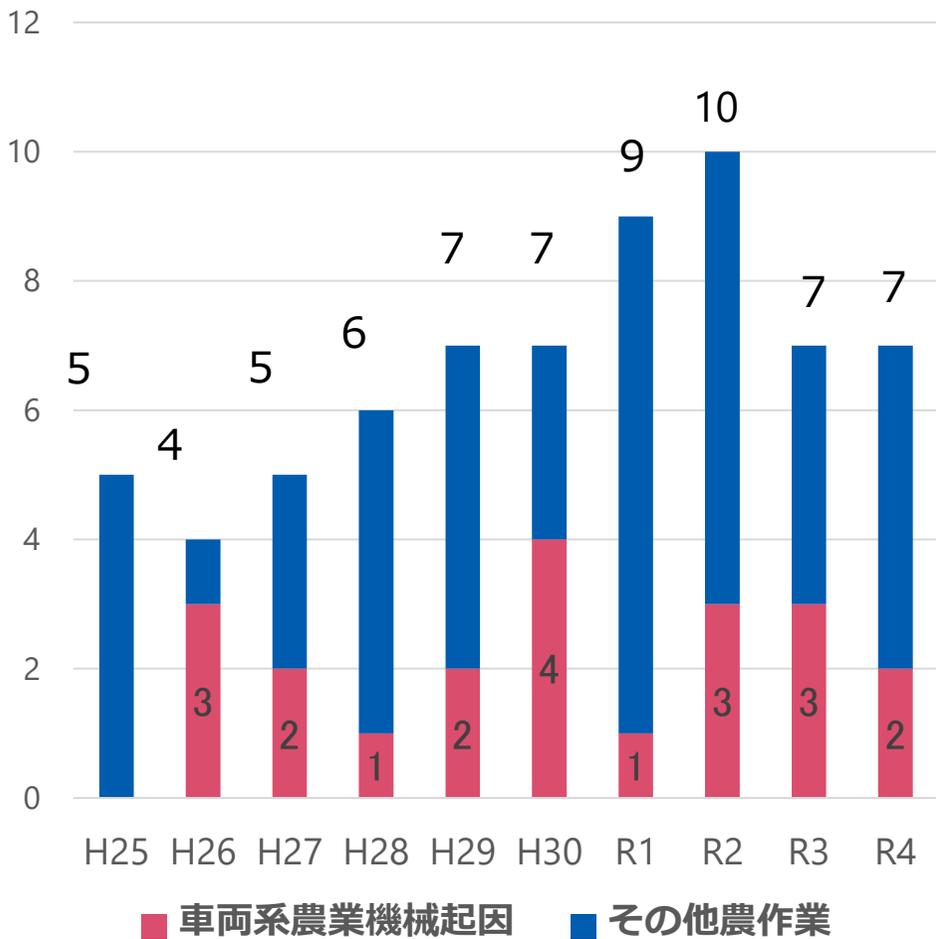


# 農業における労働災害発生状況



# 1 農業の労働災害発生状況（労働災害による死亡者数・起因物別）

- 農業の労働災害による死亡者数（死亡災害）は年間約10人程度で推移。
- 死亡災害の約3割がトラクター等の車両系農業機械によるもの。

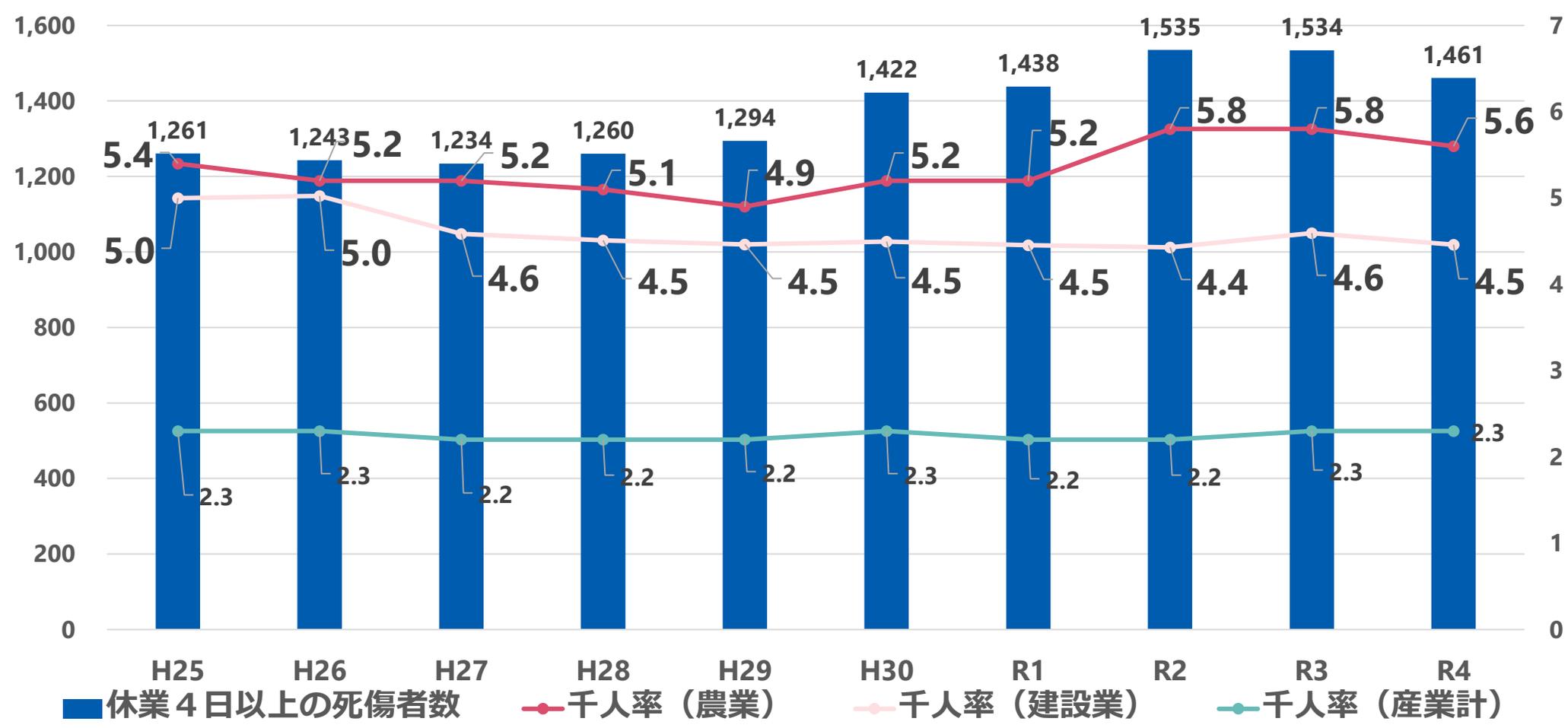


※死亡災害報告より  
 ※「自然環境等」は、熱中症、落雷、蜂害等を合算したもの  
 ※「その他」には、交通事故や車両系建設機械、車両系以外の農業機械等によるもの。  
 ※「各種ハーベスター」の内訳はサトウキビハーベスターとネギ収穫機10

※出典：死亡災害報告より。  
 農業における死亡災害から造園業等の農作業と関係がないと考えられる災害を除いたもの。

# 1 農業の労働災害発生状況（休業4日以上労働災害による死傷者数・造園業含む）

- 農業の休業4以上の死傷者数は近年増加傾向。農業の死傷年千人率は5.6（令和4年）と、全産業（令和4年で2.3）と比較して**2.5倍程度**



※労働者死傷病報告より。統計上、農業には造園業も含んでいる。

### 3. 農作業死亡事故、死亡災害・休業4日以上の労働災害件数

#### 3-2 農作業死亡事故（機種別・事故類型別）

		機体の転倒・転落	機体と物体とのはさまれ	機体との接触・轢かれ	機体からの墜落・転落	可動部分等へのはさまれ・巻き込まれ	その他	合計	
トラクタ、 管理機等	自走式・乗用型	乗用トラクタ	286 (286)	18 (18)	38 (38)	15 (15)	25 (25)	27 (23)	409 (405)
		乗用管理機	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	自走式・歩行型	歩行用トラクタ	21 (21)	60 (60)	9 (9)	1 (1)	39 (39)	4 (3)	134 (133)
		耕うん・ほ場改良作業機	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	26 (26)
	作業機	除草用作業機	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
		施肥用作業機	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
		播種・移植用作業機	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
		防除用作業機							
		収穫用作業機	3 (3)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	12 (12)
	その他の作業機	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
除草用機械	自走式・乗用型	9 (9)	12 (12)	3 (3)	3 (3)	2 (2)	1 (0)	30 (29)	
	携帯型	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	8 (0)	2 (0)	13 (0)	
	その他（不明含む）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	1 (1)	4 (4)	
播種・移植 用機械	自走式・乗用型	7 (7)	1 (0)	3 (2)	0 (0)	1 (1)	3 (1)	15 (11)	
	その他（不明含む）	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
防除用機械	自走式・乗用型	24 (24)	21 (21)	4 (4)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	54 (54)	
	その他（不明含む）	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	
果樹等作業 用機械	自走式・乗用型	7 (7)	7 (7)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	20 (20)	
収穫用機械	自走式・乗用型	穀物	41 (41)	4 (2)	12 (12)	1 (1)	2 (2)	4 (3)	64 (61)
		特用作物	2 (2)	0 (0)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (8)
		野菜等	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	4 (4)
	その他（不明含む）	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	
運搬用機械	自走式・乗用型	34 (34)	15 (15)	27 (27)	3 (3)	0 (0)	2 (1)	81 (80)	
	その他（不明含む）	2 (1)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	7 (5)	
その他	その他（不明含む）	0 (0)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	9 (9)	

※（ ）内は何らかの農業機械の構造に関する対策があれば防ぐことができた、又は被災の程度を小さくすることができたと考えられる事故・災害の件数（明らかに構造の要因がないと思われる事故・災害の件数を除いた件数）

出典：厚生労働省の「人口動態調査」の調査票情報（平成29年から令和4年までの6年間分）を利用し、農林水産省がまとめた情報を再集計したもの。

### 3. 農作業死亡事故、死亡災害・休業4日以上の労働災害件数

#### 3-3 死亡災害（機種別・事故類型別）

		機体の転倒・転落	機体と物体とのはさまれ	機体との接触・轢かれ	機体からの墜落・転落	可動部分等へのはさまれ・巻き込まれ	その他	合計	
トラクタ、 管理機等	自走式・乗用型 乗用トラクタ	8 (8)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	
	自走式・乗用型 乗用管理機								
	作業機	自走式・歩行型 歩行用トラクタ							
		耕うん・ほ場改良用作業機							
		除草用作業機							
		施肥用作業機	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
		播種・移植用作業機							
		防除用作業機							
収穫用作業機									
その他の作業機									
除草用機械	自走式・乗用型	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	
	携帯型	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	
	その他（不明含む）								
播種・移植 用機械	自走式・乗用型	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	
	その他（不明含む）								
防除用機械	自走式・乗用型	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	
	その他（不明含む）								
果樹等作業 用機械	自走式・乗用型 高所作業機	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	
収穫用機械	穀物	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	
	自走式・乗用型 特用作物	2 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	
	野菜等	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	
	その他（不明含む）								
運搬用機械	自走式・乗用型								
	その他（不明含む）								
その他	その他（不明含む）	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	

※（ ）内は何らかの農業機械の構造に関する対策があれば防ぐことができた、又は被災の程度を小さくすることができたと考えられる事故・災害の件数（明らかに構造の要因がないと思われる事故・災害の件数を除いた件数）

出典：労働者死傷病報告等を契機として、所轄労働基準監督署が調査により死亡労働災害を把握した際に作成する「死亡災害報告」の情報（平成25年から令和4年までの10年間分）により集計したもの。

### 3. 農作業死亡事故、死亡災害・休業4日以上の労働災害件数

#### 3-4 休業4日以上の労働災害（機種別・事故類型別）

			機体の転倒・転落		機体と物体とのはさまれ		機体との接触・躓かれ		機体からの墜落・転落		可動部分等へのはさまれ・巻き込まれ		その他		合計			
トラクタ、 管理機等	自走式・乗用型	乗用トラクタ	9	(9)	2	(2)	5	(5)	8	(2)	12	(8)	10	(4)	46	(30)		
		乗用管理機	1	(1)	1	(1)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	1	(1)	4	(4)		
	自走式・歩行型	歩行用トラクタ	1	(1)	1	(1)	3	(2)	0	(0)	6	(6)	5	(4)	16	(14)		
		耕うん・ほ場改良用作業機	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	12	(12)	1	(0)	13	(12)		
	作業機	除草用作業機																
		施肥用作業機	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	3	(3)	1	(0)	4	(3)
		播種・移植用作業機	0	(0)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	3	(3)	0	(0)	4	(4)		
		防除用作業機	1	(1)	0	(0)	1	(0)	0	(0)	2	(1)	1	(1)	5	(3)		
		収穫用作業機	0	(0)	0	(0)	3	(2)	2	(2)	25	(25)	1	(0)	31	(29)		
その他の作業機																		
除草用機械	自走式・乗用型	5	(5)	1	(1)	1	(1)	0	(0)	5	(4)	2	(1)	14	(12)			
	携帯型	0	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(0)	37	(12)	9	(0)	47	(12)			
	その他（不明含む）	1	(0)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	29	(25)	11	(7)	43	(33)			
播種・移植 用機械	自走式・乗用型	2	(2)	0	(0)	1	(1)	3	(2)	2	(2)	0	(0)	8	(7)			
	その他（不明含む）	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	1	(1)			
防除用機械	自走式・乗用型	2	(2)	1	(1)	1	(1)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	4	(4)			
	その他（不明含む）	0	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(0)	4	(4)	2	(1)	7	(5)			
果樹等作業 用機械	自走式・乗用型	1	(1)	1	(1)	6	(3)	7	(7)	0	(0)	1	(1)	16	(13)			
	高所作業機																	
収穫用機械	穀物	2	(1)	0	(0)	0	(0)	3	(1)	15	(15)	2	(1)	22	(18)			
	自走式・乗用型 特用作物	1	(1)	2	(2)	2	(1)	0	(0)	4	(4)	0	(0)	9	(8)			
	野菜等	1	(1)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	39	(39)	2	(2)	43	(43)			
	その他（不明含む）	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	10	(10)	0	(0)	10	(10)			
運搬用機械	自走式・乗用型	6	(6)	5	(5)	8	(5)	6	(3)	2	(1)	0	(0)	27	(20)			
	その他（不明含む）																	
その他	その他（不明含む）	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(1)	13	(13)	1	(0)	15	(14)			

※（ ）内は何らかの農業機械の構造に関する対策があれば防ぐことができた、又は被災の程度を小さくすることができたと考えられる事故・災害の件数（明らかに構造の要因がないと思われる事故・災害の件数を除いた件数）

出典：事業者から所管の労働基準監督署へ提出された休業4日以上の労働者死傷病報告の情報（令和2年から4年までの3年間分）を集計したもの。

## 4. 出荷台数

### 4-1 出荷台数（機種別・年別）

			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計	出典	
トラクタ、管理 機等	自走式・乗用型	乗用トラクタ	48,440	39,339	36,592	36,058	39,402	29,374	34,393	32,037	295,635	日農工統計	
		乗用管理機											データ無し
	自走式・歩行型	歩行用トラクタ	118,137	111,377	108,327	102,258	95,656	94,712	100,262	93,987	93,987	824,716	日農工統計
		耕うん・ほ場改良用作業機	73,814	72,750	62,290	62,044	62,273	57,750	58,697	57,053	57,053	506,671	作業機統計
	作業機*	除草用作業機	1,046	1,074	1,152	1,134	982	1,093	1,165	1,183	1,183	8,829	作業機統計
		施肥用作業機	13,412	13,959	12,348	12,371	11,323	11,115	11,815	9,816	9,816	96,159	作業機統計
		播種・移植用作業機	11,009	10,164	8,477	8,175	7,826	8,161	8,379	8,629	8,629	70,820	作業機統計
防除用作業機												データ無し	
収穫用作業機 その他の作業機		10,998	12,710	12,826	12,009	12,309	13,097	14,272	5,847	5,847	94,068	作業機統計 データ無し	
除草用機械	自走式・乗用型								6,082	6,409	12,491	農水省調べ	
											※49,964		
	携帯型 その他（不明含む）	633,038	624,556	587,366	549,760	578,659	592,020	569,077	540,372	540,372	4,674,848	日農工統計 データ無し	
播種・移植用機 械	自走式・乗用型	22,758	19,256	19,230	19,339	19,644	17,305	17,399	16,220	16,220	151,151	日農工統計	
	その他（不明含む）											データ無し	
防除用機械	自走式・乗用型**	3,316	2,861	3,311	2,917	2,855	3,035	3,240	2,704	2,704	24,239	日農工統計	
	その他（不明含む）											データ無し	
果樹等作業用機 械	自走式・乗用型							1,617	1,345	1,304	4,266	農水省調べ	
収穫用機械	自走式・乗用型***	高所作業機									※11,376		
		穀物	17,125	15,158	14,552	14,279	14,625	11,595	12,256	11,531	111,121	日農工統計	
		特用作物****	-	-	1	-	-	23	-	13	13	37	農水省調べ
	野菜等	1,521	2,042	1,434	1,587	1,413	1,453	1,477	1,300	1,300	12,227	農水省調べ	
その他（不明含む）											データ無し		
運搬用機械	自走式・乗用型	10,466	10,361	10,015	9,968	8,707	8,650	9,600	8,352	8,352	76,119	日農工統計	
	その他（不明含む）											データ無し	
その他	その他（不明含む）											データ無し	

※ 8年分の統計がないことから、年間平均出荷台数を算出し8倍することで、8年分に換算した件数。

\* 「耕うん・ほ場改良用作業機」は、作業機統計のうち、Ⅰ耕起用作業機、Ⅱ砕土、整地用作業機特用作物、「除草用作業機」はⅤ管理用作業機 - 22カルチ、23中耕口ータ、「施肥用作業機」はⅢ施肥用、「播種・移植用作業機」はⅣ播種、移植用作業機、「収穫用作業機」はⅥ飼料収穫用作業機、Ⅶ畑作物収穫用作業機を集計したもの

\*\* 乗用型に限らない。ブームスプレーヤも含まれている。

\*\*\* 「穀物」はコンバイン、「特用作物」はサトウキビ及びビートの収穫機、「野菜等」はポテト、キャベツ、たまねぎ、ねぎ、ほうれん草、えだまめ、にんじん、だいこん及びごぼうの収穫機で、乗用型に限らない。

\*\*\*\* 「-」は作業機製造メーカーからの回答が不十分のため集計できないもの。

（出典）日農工統計：（一社）日本農業機械工業会による統計データのうち、農業機械の国内向け出荷台数（輸入実績を含まない）。  
作業機統計：（一社）日本農業機械工業会による統計データのうち、乗用トラクタ用作業機の国内向け出荷実績（輸入実績を含む）。  
農水省調べ：農業機械の国内向け出荷台数（輸入実績を含む）。

## (参考) 年間出荷台数(1万台)あたりの事故・災害件数①

- 平成27年から令和4年までの出荷台数1万台あたりの事故・災害件数の割合を算出したもの

			農作業死亡事故		死亡災害		休業4日以上死傷災害		出荷台数 (H27-R4 の合計)
			件数	件数/万台	件数	件数/万台	件数	件数/万台	
トラクタ、管理 機等	自走式・乗用型	乗用トラクタ	405	13.70	9	0.30	30	1.01	295,635
		乗用管理機					4		
	自走式・歩行型	歩行用トラクタ	133	1.61			14	0.17	824,716
		耕うん・ほ場改良用作業機	26	0.51			12	0.24	506,671
	作業機	除草用作業機	1	1.13					8,829
		施肥用作業機	2	0.21	1	0.10	3	0.31	96,159
		播種・移植用作業機	1	0.14			4	0.56	70,820
		防除用作業機					3		
		収穫用作業機	12	1.28			29	3.08	94,068
	その他の作業機	0							
除草用機械	自走式・乗用型		29	5.80	1	0.20	12	2.40	※49,964
	携帯型		0	0.00			12	0.03	4,674,848
	その他(不明含む)		4				33		
播種・移植用機 械	自走式・乗用型		11	0.73	1	0.07	7	0.46	151,151
	その他(不明含む)		0				1		
防除用機械	自走式・乗用型		54	22.28	1	0.41	4	1.65	24,239
	その他(不明含む)		2				5		
果樹等作業用機 械	自走式・乗用型	高所作業台車	20	17.58	1	0.88	13	11.43	※11,376
収穫用機械	自走式・乗用型	穀物	61	5.49	1	0.09	18	1.62	111,121
		特用作物*	8	2162.16	4	1081.08	8	2162.16	37
		野菜等	4	3.27	1	0.82	43	35.17	12,227
	その他(不明含む)		2				10		
運搬用機械	自走式・乗用型		80	10.51			20	2.63	76,119
	その他(不明含む)		5						
その他	その他(不明含む)		9		1		14		

・ 件数欄は何らかの農業機械の構造に関する対策があれば防ぐことができた、又は被災の程度を小さくすることができたと考えられる事故・災害の件数(明らかに構造の要因がないと思われる事故・災害の件数を除いた件数を集計)

※ 8年分の統計がないことから、年間平均出荷台数を算出し8倍することで、8年分に換算した件数

\* 特用作物の収穫用機械について、事故・災害には、サトウキビ、ビート、茶葉の収穫機が含まれているが、出荷台数は、サトウキビ、ビートのみとなっている。

## (参考) 年間出荷台数(1万台)あたりの事故・災害件数②

### ● 平成27年から令和4年までの出荷台数1万台あたりの事故・災害件数の割合を算出したもの

※ 農作業死亡事故の「件数/万台」を第一優先順位、休業4日以上の死傷災害の「件数/万台」を第二優先順位として大きい順に並べ替えたもの

機械分類	例	農作業死亡事故		死亡災害		休業4日以上の死傷災害		出荷台数 (H27-R4の合計)
		件数	件数/万台	件数	件数/万台	件数	件数/万台	
収穫用機械_自走式・乗用型_特用作物*	サトウキビハーベスタ、乗用型摘採機	8	2162.16	4	1081.08	8	2162.16	37
防除用機械_自走式・乗用型_	スピードスプレーヤ	54	22.28	1	0.41	4	1.65	24,239
果樹等作業用機械_自走式・乗用型_高所作業機	農用高所作業機	20	17.58	1	0.88	13	11.43	※11,376
トラクタ、管理機等_自走式・乗用型_乗用トラクタ	乗用トラクタ	405	13.70	9	0.30	30	1.01	295,635
運搬用機械_自走式・乗用型_	農用運搬車	80	10.51			20	2.63	76,119
除草用機械_自走式・乗用型_	乗用草刈機	29	5.80	1	0.20	12	2.40	※49,964
収穫用機械_自走式・乗用型_穀物	自脱型コンバイン	61	5.49	1	0.09	18	1.62	111,121
収穫用機械_自走式・乗用型_野菜等	ネギ収穫機、ニンジン収穫機	4	3.27	1	0.82	43	35.17	12,227
トラクタ、管理機等_自走式・歩行型_歩行用トラクタ	歩行用トラクタ	133	1.61			14	0.17	824,716
トラクタ、管理機等_作業機_収穫用作業機		12	1.28			29	3.08	94,068
トラクタ、管理機等_作業機_除草用作業機		1	1.13					8,829
播種・移植用機械_自走式・乗用型_	田植機	11	0.73	1	0.07	7	0.46	151,151
トラクタ、管理機等_作業機_耕うん・ほ場改良用作業機		26	0.51			12	0.24	506,671
トラクタ、管理機等_作業機_施肥用作業機		2	0.21	1	0.10	3	0.31	96,159
トラクタ、管理機等_作業機_播種・移植用作業機		1	0.14			4	0.56	70,820
除草用機械_携帯型_	手持ち式刈払機	0	0.00			12	0.03	4,674,848
トラクタ、管理機等_自走式・乗用型_乗用管理機						4		
トラクタ、管理機等_作業機_防除用作業機						3		
トラクタ、管理機等_作業機_その他の作業機		0						
除草用機械_その他(不明含む)_		4				33		
播種・移植用機械_その他(不明含む)_		0				1		
防除用機械_その他(不明含む)_		2				5		
収穫用機械_その他(不明含む)_		2				10		
運搬用機械_その他(不明含む)_		5						
その他_その他(不明含む)_		9		1		14		

・ 件数欄は何らかの農業機械の構造に関する対策があれば防ぐことができた、又は被災の程度を小さくすることができたと考えられる事故・災害の件数(明らかに構造の要因がないと思われる事故・災害の件数を除いた件数)

※ 8年分の統計がないことから、年間平均出荷台数を算出し8倍することで、8年分に換算した件数

\* 特用作物の収穫用機械について、事故・災害には、サトウキビ、ビート、茶葉の収穫機が含まれているが、出荷台数は、サトウキビ、ビートのみとなっている。

# 労働安全衛生法における機械規制



# 1. 農業機械の構造に関する規制をどう考えるか

## 1-1 構造に関する規制の概要（構造に関する使用規制を含む）

※第6回検討会資料1より抜粋

● 今回議論する範囲 法：労働安全衛生法 則：労働安全衛生規則

機械の製造等を行う者  
使用後に得た知見等の伝達等  
機械ユーザー事業者

### 機械メーカーに対する規制

#### 構造規格（義務）

#### リスクアセスメントの実施（任意）

- 機械の制限（仕様）の指定
- 危険源の同定
- リスクの見積りと評価

#### 保護方策の実施（任意）

- 本質的安全設計方策
- 安全防護、付加保護方策
- 使用上の情報

#### 危険情報（残留リスク情報）の提供（努力義務）

#### リスクアセスメントの実施（努力義務）

- 使用上の情報の内容の確認
- 危険源の同定
- リスクの見積りと評価

#### 保護方策の実施（努力義務※）

- 本質的安全設計方策
- 安全防護、付加保護方策
- 追加の保護方策

● 法第42条の規定では、一定の危険な機械について、**厚生労働大臣が定める規格又は安全装置を具備しなければ、譲渡、貸与等をしてはならない**ことを定めている。

● 則第24条の13の規定では、労働者に危険を及ぼすおそれのある機械を譲渡し、又は貸与する者は、文書の交付等により**当該機械に関する危険性等を、譲渡又は貸与を受ける相手方の事業者**に通知するよう努めなければならないことを定めている。

● 法第28条の2の規定では、**機械等による危険性等を調査し、その結果に基づき、この法律またはこれに基づく命令の規定による措置を講ずるほか、労働者の危険等を防止するため必要な措置を講ずるよう努めなければならない**ことを定めている。

※法令に規定する措置には義務づけられている措置もある（詳細右記）

機械ユーザー事業者

### 機械ユーザーに対する規制

#### 使用に関する規制（義務又は努力義務） （構造に関する使用規制を含む）

##### 【構造に関係する使用規制】

- 則27：構造規格に適合するものの使用
- 則152：前照灯を備えたものの使用（明るい場所での使用を除く）
- 則153：ヘッドガードを備えたものの使用（落下による危険のある場所）
- 則157の2：転倒時保護構造を有し、かつ、シートベルトを備えたもの以外の車両系建設機械を使用しないように努める規定（機体の転倒、転落による危険のある場所）
- 則163：構造上定められた安定度、最大使用荷重等の遵守
- 則166の3：構造上定められた重量を超えるアタッチメントの装着禁止

##### 【その他の使用規制】

- 則154：作業場所の地形、地質の状態等の調査、結果の記録
- 則155：調査結果に適應する作業計画の策定、これに基づく作業の実施、同計画の労働者への周知
- 則156：適正な制限速度を定め、それによる作業の実施、制限速度を超えた運転の禁止
- 則157：運行経路の路肩の崩壊防止、地盤の不同沈下の防止、必要な幅員の保持、危険な場所での誘導者の配置・誘導者による誘導等
- 則158：接触する危険箇所への立入禁止（誘導者による誘導をするときを除く）
- 則159：誘導者を置くときの合図、運転者は合図に従うこと
- 則160：運転者が運転位置から離れる際に、作業装置を地上に下ろす、逸走防止の措置を講ずること
- 則161：機体の移送のため、貨物自動車に積卸しを行う際には、平たんな場所等で行うこと等
- 則162：乗車席以外の箇所へのとう乗の制限
- 則164：主たる用途以外の使用の制限
- 則165：修理等の作業を行うときの、当該作業を指揮する者を定め、作業手順を決定し、作業を指揮すること、架台等の使用状況を監視すること
- 則166の2：アタッチメントの装着等の作業を行うときの架台の使用
- 則166の4：アタッチメントの重量の表示
- その他、コンクリートポンプ車と解体用機械は個別に規制

##### 定期自主検査（義務）

- 則167：1年以内ごとに1回の自主検査の実施（1年を超える期間使用しないものを除く）
- 則168：1月以内ごとに1回の自主検査の実施（1月を超える期間使用しないものを除く）
- 則169：検査の記録の3年間の保存
- 則169の2：則167の検査の有資格者による検査の実施（道路運送車両法に基づく点検を行った場合、当該点検を行った部分の自主検査を要しない）、検査標章の貼付等
- 則170：作業開始前のブレーキ及びクラッチの機能の点検
- 則171：点検後、異常を認めたときの補修等の措置

技能講習又は特別教育

## 支援事業等

令和7年度概算決定額 **82.1百万円** (0百万円) ※()内は前年度当初予算額

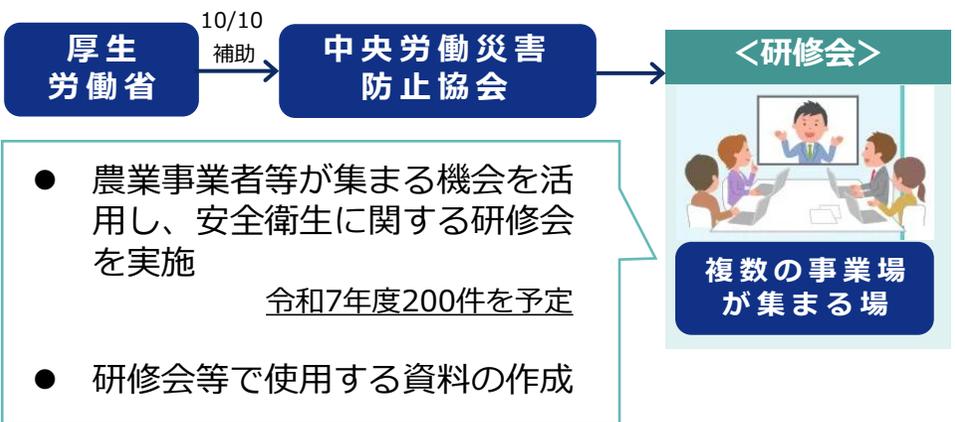
労働保険特別会計			一般 会計
労災	雇用	徴収	
○			

## 1 事業の目的

- 農業経営の法人化に伴う農業労働者の増加や高齢化等を背景に、農業における労働災害は増加傾向にある。また、農業の度数率\*は6.97と全産業平均の度数率2.06の3.4倍と高く、農業の労働災害の防止は喫緊の課題となっている。
- 農業の労働災害の内訳を見ると、その多くが車両系農業機械によるものであり、現在、車両系農業機械に関する規制創設の検討を行っている。具体的には車両系農業機械の使用に当たり、作業計画の作成、作業指揮者の選任、安全衛生教育の実施等を義務づける方向としている。
- 本事業は、安全衛生の専門家による指導や研修会の実施等を通じ、農業の安全衛生対策の普及・啓発を図り、農業の安全衛生水準の向上を図ることを目的としている。

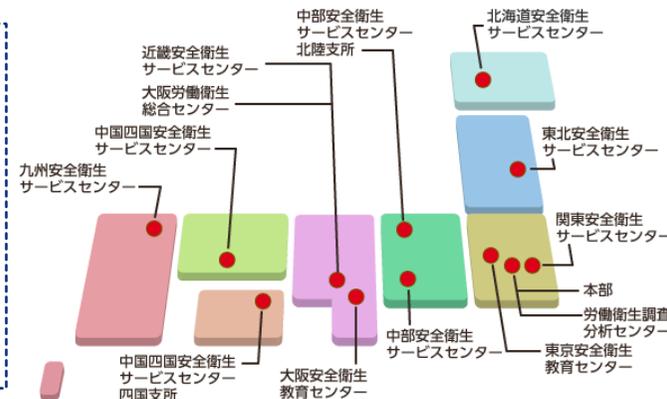
\*度数率：100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数

## 2 事業の概要・スキーム



## 3 実施主体等

中央労働災害防止協会の全国の事業拠点12箇所に配置された専門家を事業場等に派遣



## 4 事業実績 (農業以外)

個別支援件数：約900件 (令和5年度)

集団支援件数：約200件 (令和5年度)



## 事業者向け

# 農作業安全を 学びましょう

労働安全衛生関係法令では、労働者が従事する業務により労働災害に被災しないよう、働く場の環境、取り扱う機械設備や材料の持つ危険性や有害性を知らせるほか、安全な作業手順などを教育しなければならないとしています。本テキストは、よくある災害事例を紹介しつつ、農作業を安全で衛生的に行うために最初に身につけるべき事項及びこれらの事項に係る労働者への教育を行うための事業者としての留意事項をとりまとめたものです。



近年、農作業中の死亡事故者数は年間 250 人程度で推移しています。就業者 10 万人当たりの死亡者数も増加傾向にあり、危険とされている建設業を上回り、他産業との差が拡大傾向にあります。また、死亡事故を要因別にみると、農業機械作業に係る事故が全体の 7 割を占める状態が継続しています。

そのような中、今後、農業経営の法人化や農業支援サービス事業の利用が拡大していく現在、不慣れな未熟練労働者が農業機械作業などリスクの高い業務に従事することが想定されます。

このため、使用する機械・設備の危険箇所や使用する資材の有害性を労働者に周知するとともに、災害事例を踏まえ、正しい作業方法を教育する必要があります。